

登壇者プロフィール

■高松 重和 赤井川村役場 総務課長（兼）企画地域振興係長

平成5年4月赤井川村奉職。平成30年に総務課主幹、令和元年7月より現職。

赤井川村は札幌、小樽に隣接する人口1,100人程の農村。カルデラ盆地や農業の営みから育まれる四季折々の風景と郷土芸能であるカルデラ太鼓を後世に伝える地域資源として、「日本で最も美しい村連合」設立時より加盟。

地域課題は乗務員不足、少子化を背景として村内唯一のバス路線が今年3月末で廃止となるため、高校生の通学や高齢者の買い物、通院に欠かすことのできない公共交通の新たな体制確保が急務。

■鈴木 絵利香 赤井川村役場 総務課 ふるさと納税担当／元赤井川村ふるさと伝え隊員

東京生活10年目を機に地方での暮らしを考え始め、平成29年に赤井川村地域おこし協力隊員「ふるさと伝え隊員」として移住。令和2年に任期満了し、現在も引き続きふるさと納税業務を主に、地域のファンづくりに取り組んでいる。

■長谷川 光 株式会社東急エージェンシー 戦略事業本部 事業統括局 第2街づくりデザイン部部长／下田市 シティプロモーションアドバイザー

2017年に総務省の「地域おこし企業人制度」により静岡県下田市役所に派遣、同市のプロモーション企画、広告戦略を担う「シティプロモーションアドバイザー」に任命される。伊豆を中心としたエリアで公共交通や観光施設、観光体験をスマートフォンで検索・予約・決済できる観光型MaaS「Izuko」など多くのプロジェクトを推進中。

■古西 伸崇 東急株式会社 交通インフラ事業部 戦略企画グループ 戦略担当

2006年よりたばこメーカーにて企画・マーケティングに従事し、2020年1月東急に転職。観光型MaaS「Izuko」Phase3のプロジェクトマネジメントを経て、現在はMaaSを含む伊豆活性化の取組を担当。

■佐藤 秀典 一般社団法人北海道バス協会 専務理事

1959年倶知安町生まれ。1982年北海学園大学卒業、札幌陸運局に入局。北海道運輸局室蘭運輸支局や同局鉄道部を経て2019年より現職。